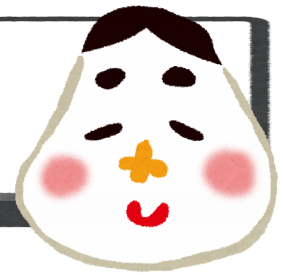




ICT通信 2月号



◆使ってみよう「NotebookLM」

NotebookLMは、Googleが開発した最新のAIノートブックです。一般的な生成AIと異なるのは、**自分がアップロードした資料のみを元に回答する**という点です。様々な情報が入り混じるインターネットの情報ではなく、ソースとしてアップロードしたPDFファイル・音声・動画ファイル・URL等を元にして動きます。

| | |
|-----|--------------------------------------------|
| 信頼性 | ソースの資料が引用表示され、情報の出所が明確なため簡単なファクトチェックが可能です。 |
| 安全性 | データは一切学習に使用されず、情報漏洩の心配なく安全に活用できます。 |

◇「NotebookLM」の使い方

| | | |
|---|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | | <p>Google検索画面の九点リーダーからNotebookLMにアクセスし、ノートブックを新規作成します。</p> |
| 2 | | <p>左のソースに資料（PDFファイル・音声ファイル・動画ファイル等）をアップロードします。</p> <p>例：文部科学省が公開している各種学習指導要領（PDFファイル）や職員会議の音声（mp3等）、長時間のYoutube動画（URL）</p> |
| 3 | | <p>画面下部のチャット欄に、資料について知りたいことを質問してみましょう。</p> <p>例：この資料の要点を3点にまとめてください</p> |

◇「NotebookLM」でできること

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 要約と整理 | 複数の資料を読み込ませるだけでAIが内容を一瞬で解析します。 |
| 質疑応答 | 読み込ませた資料の中身に限定してAIが質問に答えます。 |
| 自動生成 | 資料の内容をもとに、音声解説やスライド等のコンテンツを自動で生成します。 |

山陽小野田市 ICT 推進連絡協議会（2月10日）

山陽小野田市市民館にて、Google for Educationから講師を迎え、市内各小中学校の情報教育担当者を対象として標記協議会が実施されました。

- ① 次期学習指導要領改訂におけるデジタル学習基盤に関する展望について共有
- ② 全員で、共有された一つの Google スライドを編集し、各校で実践されているICTの取組みを紹介
- ③ Google スライドのコメント機能を活用して、質問等を行いお互いの取組みを掘り下げる
- ④ 厚狭中・小野田中にて実践中の Google の Looker Studio を活用した事例の紹介と経過の報告
- ⑤ Google の講師による Looker Studio の作成方法や具体的な使い方の研修

全国的に教育DXが進められる中で、山陽小野田市でも Google Workspace を活用して様々な学習・活動が実践されています。各学校でも、児童・生徒数、教職員数、学校目標、地域との連携等、それぞれ求められることが異なるため、ICTの活用方法も様々です。普段から、Googleチャット・Googleクラスルーム・Googleサイト等を通じて情報のやり取りは行われていますが、こうして直接話し合ったり質問をぶついたりといった機会は得られるものが大きくとても勉強になります。



研修会の様子



学校での取組みを共有する様子①



学校での取組みを共有する様子②

教育DXの「DX」とはデジタルトランスフォーメーションを示しており、以下の段階に別れています。

| | | |
|---|------------------|---------------|
| 1 | デジタイゼーション | 紙からデジタルへの置き換え |
| 2 | デジタライゼーション | プロセスのデジタル化 |
| 3 | デジタルトランスフォーメーション | 新しい価値の創造 |

最終的にDXを目指す取組みの一つとして現在、厚狭中・小野田中にて教育ダッシュボードが作成されています。ダッシュボードでは、Google for Education のアプリである「Looker Studio」を用いて、毎週行われる自身の健康状態（睡眠時間や朝食を取ったか等）や授業への取組みのアンケートの結果を分析できるように可視化しています。教職員だけでなく、生徒も自分の結果を閲覧することができ、厚狭中学校の生徒対象の教育ダッシュボードの成果検証アンケートでは、「ダッシュボードを見ている」と答えた生徒については「見ていない」と答えた生徒に比べ、学習に対する意識が高いことが確認されています。



厚狭中・小野田中の取組みの紹介①



厚狭中・小野田中の取組みの紹介②



Google の講師による研修

今後も、このような先進的な取組みを市内小中学校に展開していくため、ICT支援員としてサポートや情報提供を進めて行きます。Looker Studio についてもぜひご相談ください。